●この取扱説明書は大切に保管してください。

マックス ネットワーク型タイムレコーダ
TIME DOC
ER-TC1000S
取扱説明書

●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
●この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
●この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

第 1 章　はじめに

この度はマックス ネットワーク型タイムレコーダ ER-TC1000Sをご購入いただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

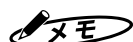
1-1　ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行なってはいけないことや、物的損害のみの発生が予想され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

本機が故障して修理が必要となることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので必ず守っていただきたいことが書いてあります。

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

取扱説明書のページが異なる場所に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

⚠ 警　告

	●**本機は絶対に分解または改造しないでください**。火災、感電、故障の原因になります。
	●**本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください**。故障や感電、けがの原因になります。 ●**電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしないでください**。火災の原因になります。 ●**電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください**。コードに傷が付いて、火災や感電の原因になります。 ●**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください**。感電の原因になります。 ●**水、薬品などが本機にかからないようにしてください**。故障や感電の原因になります。
	●**電源は100V専用コンセントを使用してください**。100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。
	●**万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください**。そのままで利用すると、故障や火災、感電の原因になります。 ●**故障のまま本機を使わないでください**。煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグを**コンセントから抜いて**販売店に修理を依頼してください。

⚠ 注　意

	●**大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください**。電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。 ●**紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください**。火災や故障の原因になります。 ●**データの出力もしくは読み込み中に、振動や衝撃を与えたり、メモリカード（CF）を取り出さないでください**。故障やデータ破壊の原因になります。
	●**プリンタヘッドには絶対にさわらないでください**。印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。
	●**長時間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。** ●**設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください**。無理をするとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。 ●**インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください**。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。 ●**壁への取り付け作業を行う際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください**。本機が不意に動作した時、けがや故障の原因になります。
	●**電源プラグは定期的に掃除してください**。長い間にホコリ等がたまり、火災や故障の原因になります。 ●**電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っぱらずに、必ず、電源プラグを持って抜いてください**。コードが破損して、火災や感電の原因になります。 ●**インクリボンの交換の際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。**

⚠ 注　意

●**本機は必ず水平に設置してください。**ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

●**壁に掛けて使用するときは、本機の重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。**落ちたりして、けがや故障の原因になります。

●**故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。**

お願い

本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

●トラブルの原因になりますので次のような場所では使用および保管をしないでください。
1.直射日光の当たる場所やヒーターなどの熱源に近い場所
2.ホコリや湿気の多い場所
3.傾いたり振動や衝撃の加わる場所
4.温度0℃以下、40℃以上になる場所
5.ゴキブリなどのいる場所

●本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や薬品は使わないでください。変形したり変色するなどの原因になります。

●専用タイムカード「ER-Sカード」以外は使えません。又、折れ曲がったり、破れたり、濡れたカードは絶対に使用しないでください。

●インクリボンは必ず「ER-IR101」をご使用ください。

●カードの横のパンチ穴をふさいだり、破損させたりしないでください。本機は、タイムカードのパンチ穴を読みとって印字欄を決定します。

●タイムカードを強く押し込んだり、印字中に抜いたりしないでください。カードは自動的に引き込まれ、自動的にもどります。

1-2　本書のみかた

お願い	必ず守っていただきたいことを記載します。
メモ	ポイントなどを記載します。
参照	参照するページを記載します。

1-3　目次

1-4　特長

LAN経由での設定および、データ送信ができます。………………………… 参照 P.35、40〜41

弊社勤怠管理ソフト「就業DOC」(別売)、「就業DOC-Light」TIME DOC紙LAN(パック同梱品)をご使用いただくことで勤怠集計業務が行なえます。
※他社勤怠管理ソフトで使用する場合には、別途「データ収集ソフト」が必要となります。

LAN接続で運用時にNTPサーバから時刻取得し同期を取る設定が行えます。…… 参照 P.18

打刻は1日最大6欄印字、使用人数は1台で100人まで打刻できます。

メモリカード（CF）での設定および、データ書き出しができ、LAN環境がないところでもご使用いただけます。……………………………………………………………………… 参照 P.20〜21、36

西暦年、月、日は工場出荷時に設定済みです。……………………………………… 参照 P.14

たて置き、よこ置き、壁かけ3通りの設置方法で使用できます。……………… 参照 P.25、26

画面表示は蛍光表示管なので暗闇でもクッキリ見えます。 ………………………… 参照 P.11

パスワードによるタイムレコーダ設定本体操作のロックができます。………… 参照 P.48

リポート印字で設定内容を確認できます。 ……………………………………… 参照 P.24

使用環境に合わせカード発行方法が選択できます。
事前にタイムカードを準備（発行）しておく場合
①カード番号発行：カード番号、締日、マシン番号（端末番号）、日付変更時刻を印字発行できます。
※勤務者とカード番号を毎月固定して管理する場合。 ……………………………… 参照 P.29

②締日カード発行：締日、マシン番号（端末番号）、日付変更時刻を印字発行できます。
※締日の異なる勤務者を管理されたい場合。……………………………………… 参照 P.31〜32

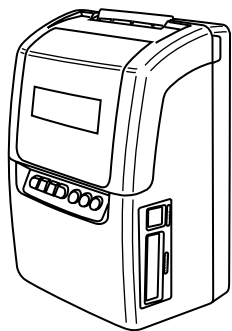
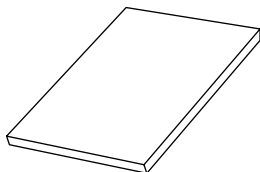
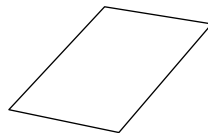
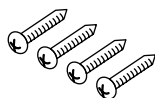
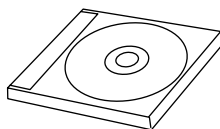
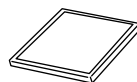
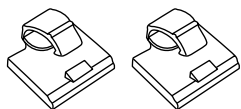
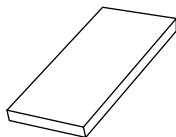
事前にタイムカードを準備し発行しない場合
自動カード発行：未発行カードを挿入した時は自動的にカード番号印字をして打刻することができます。 ……………………………………………………………………………… 参照 P.30

使用環境に合わせて打刻時のボタン操作が選択できます。
①マニュアル打刻：操作ボタンを押してタイムカード挿入すると指定した欄に印字します。
……………………………………………………………………………………… 参照 P.33

②セミオート打刻：出退勤切替時刻（指定時刻）より前は出勤、以降は退勤打刻を印字します。
……………………………………………………………………………………… 参照 P.34

1-5　同梱品の確認

付属品　本機をご使用になる前に、以下の同梱品が揃っているか確認してください。万一、不足や破損がある場合は、お手数ですが、お買い上げの販売店にお問合せください。

ER-TC1000S（本機）1台

取扱説明書（本書）1冊

お客様登録カード（保証書）　1枚

壁掛け用ネジ　4個

ER-TC1000S設定ツール（CD）　1枚

メモリカード（CF）　1枚

LANケーブル固定用クランプ　2個
※ケーブル固定に使用します。

サンプルカード（ER-Sカード）　20枚

ネットワーク環境内で弊社勤怠管理ソフト「就業DOC」（別売）、「就業DOC-Light」をご使用いただくことで、タイムレコーダから打刻データを取り込み、打刻ミスがないかをいつでも確認でき、修正、集計を行なうことができます。

※1 ER-TC1000Sには「就業DOC-Light」、「メモリカードリーダ」は同梱しておりません。別途、お買い求めください。

※2 ER-TC1000Sパックには「就業DOC-Light」、「メモリカードリーダ」が同梱されております。LANケーブルは同梱しておりません。別途ご用意ください。

お願い

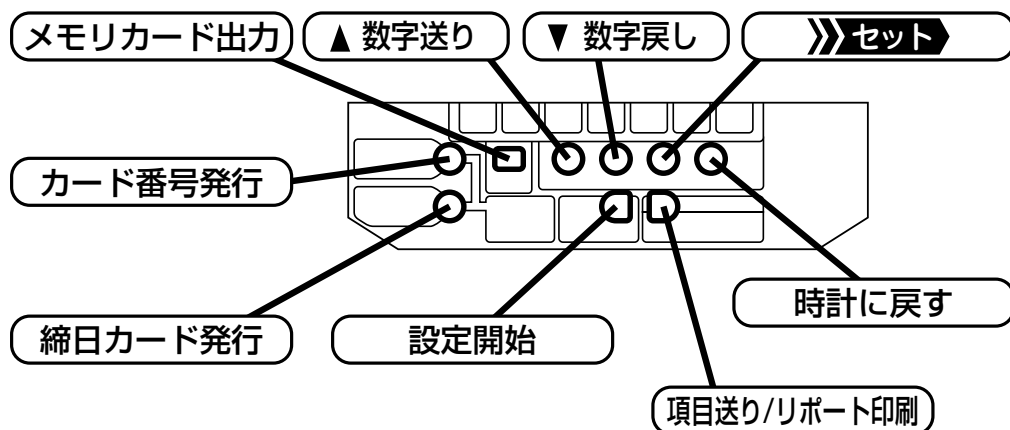
☆お手数ですが、お客様登録カード記載のURLにインターネット登録いただくか、所定事項をご記入の上FAXにて送信するかハガキ部分をご投函ください。マックスお客様リストに登録し、アフターサービスに活用させていただきます。

☆操作がわからなくなった時には、本書をお読みいただけますよういつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

☆メモリカード（CF）、LAN接続をお使いにならない時は、コネクタキャップを付けてご使用ください。

第 2 章　タイムレコーダ本体の説明

2-1　各部の名称とはたらき

■設定ボタン

<はたらき>

カード番号発行　：約3秒間押しつづけると、カード番号発行を開始します。

締日カード発行　：約3秒間押しつづけると、締日カード発行を開始します。

カード番号発行　締日カード発行　：同時に約3秒間押しつづけると、カードメンテナンス（再発行）画面に切り替わります。

メモリカード出力　：約3秒間押しつづけると、メモリカード出力画面に切り替わります。

▲数字送り　：点滅している数字または、表示を送ります。

▼数字戻し　：点滅している数字または、表示を戻します。

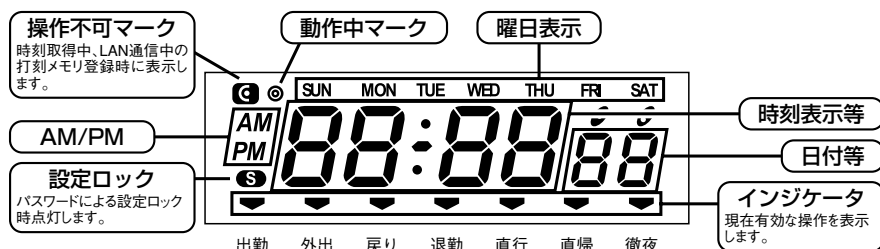
セット　：点滅している数字または、表示を確定します。

設定開始　：約3秒間押しつづけると、設定画面に切り替わります。

項目送り　：設定画面の項目を送ります。
約3秒間押しつづけると、リポート印字画面に切り替わります。

時計に戻す　：切り替わった画面か時計表示に戻ります。

2-2　ディスプレイ表示と操作ボタンの確認

■ディスプレイ表示

12時間制を選択、午後1時の時計表示

MON
PM 1:00 01

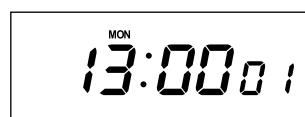
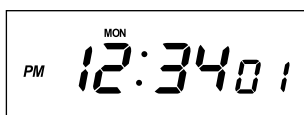
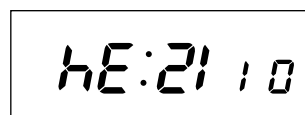
24時間制を選択、午後1時の時計表示

MON
13:00 01

たて置き選択、1日、月曜日、午後12時34分

MON
PM 12:34 01

よこ置き選択、1日、月曜日、午後12時34分

hE:21 10

※よこ置き選択時は24時間制表示となります。

■操作ボタン

操作ボタンを押すと該当するインジケータ ▼ が点灯、有効となります。再度同じボタンを押すとインジケータ ▼ が消灯し無効となります。約10秒無操作状態が継続するとインジケータ ▼ が消灯し、無効となります。カード挿入前に違うボタンを押すとそちらが有効となります。タイムカードを挿入すると該当する欄に打刻印字します。

出勤：出勤の際にボタンを押し、タイムカードを挿入します。セミオート打刻を設定しており、出勤欄への打刻範囲内であればボタンを押す必要はありません。

外出：休憩や外出の際にボタンを押し、タイムカードを挿入します。

戻り：休憩や外出から戻りの際にボタンを押し、タイムカードを挿入します。

退勤：退勤の際にボタンを押し、タイムカードを挿入します。セミオート打刻を設定しており、退勤欄への打刻範囲内であればボタンを押す必要はありません。

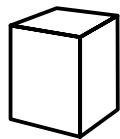
直行：直行から帰社した際にボタンを押し、タイムカードを挿入します。
直行みなし時刻を設定している時は、「チョッコウ」打刻を行ないます。

直帰：外出前に、あらかじめ直帰する際にボタンを押し、タイムカードを挿入します。直帰みなし時刻を設定している時は、「チョッキ」打刻を行ないます。
※直行、直帰ボタン操作は当日のみ（日付変更時刻まで）有効です。

徹夜：日付変更時刻をまたいで勤務をした際にボタンを押し、タイムカードを挿入します。出勤日と同じ段に打刻を行ないます。

第３章　準備　設定

3-1　全体の流れ

準備

同棲品の確認

参照 P8

タイムレコーダ、付属品を箱から取出し同梱品の確認を行なってください。

設定ツール（同梱CD）インストール

参照 P15～16

同梱CDのインストールを行ないます。

設定ツールによる初期設定

参照 P17～20

①設定ツールを使用して初期設定を行ないます。
②設定ファイルをメモリカード（CF）へ書き出します。

設定ファイルをタイムレコーダへ読み込ませる

参照 P21

確認

LANケーブルを接続し設定内容の確認を行なう

参照 P22～24

①タイムレコーダでリポート印字を行ないます。
②タイムレコーダとPCを接続し、正しく設定されているか確認します。

運用

タイムカードの発行

参照 P27～32

①カード番号発行　②自動カード発行打刻　③締日カード発行

使用開始

参照 P33～36

①タイムカードへ打刻　②打刻データの収集

■準備

①現在時刻と年月日の確認 …… 参照 P14
②設定ツール（同梱CD）のインストール …… 参照 P15～16
③設定ツールによる初期設定 …… 参照 P17～19
④設定ファイルをメモリカード（CF）に書き出す …… 参照 P20
⑤設定ファイルをタイムレコーダに読み込ませる …… 参照 P21

■確認

①LANケーブルを接続します …… 参照 P22
②LAN経由で通信および設定内容を確認する。 …… 参照 P23
③タイムレコーダの設定内容をタイムカードに印字して確認する …… 参照 P24

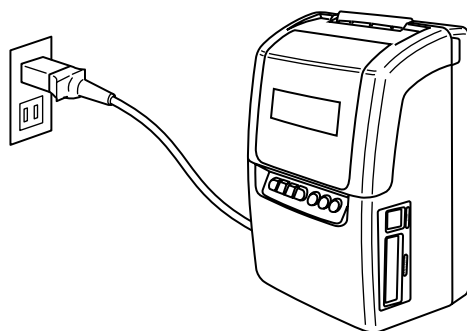
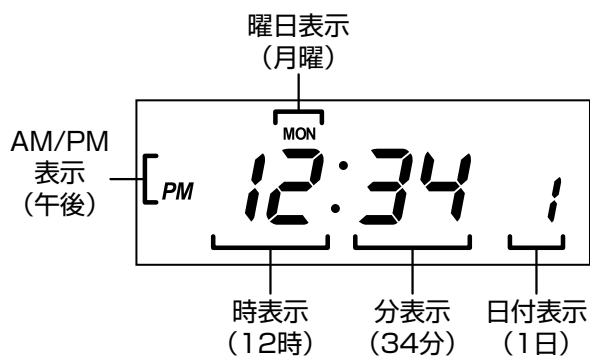
■運用

①タイムカードを発行する …… 参照 P27～28
・カード番号を指定して発行 …… 参照 P29
・自動カード発行して打刻 …… 参照 P30
・締日カードを発行 …… 参照 P31～32

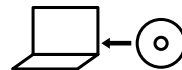
②タイムカードへ打刻する …… 参照 P33～34
③タイムレコーダの打刻データを収集する …… 参照 P35～36

3-2　現在時刻、年月日の確認

①本体の電源ケーブルをコンセントに差し込んでください。

②電源が入ると機種名、本体バージョンを表示した後、時計表示になります。

③時計表示画面を確認してください。

工場出荷時に西暦年、月、日、時刻は設定されていますので改めて設定する必要はありません。
設定する場合は以下のページを参照してください。

参照　P.43　9-6-1　現在時刻の設定

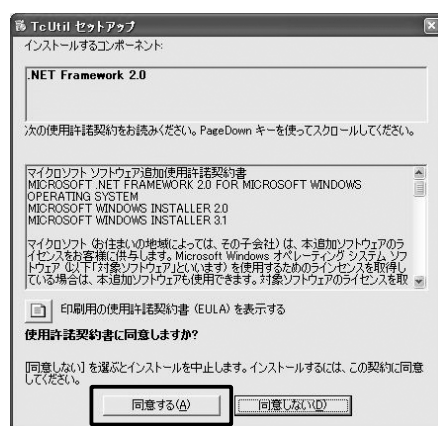
参照　P.44　9-6-2　年月日の設定

3-3　タイムレコーダの設定方法

タイムレコーダを使用できるようにするには初期設定が必要となります。初期設定の手順は以下の通りです。

3-3-1　設定ツール（同梱CD）をインストールする

ご使用PCへ設定ツール「TcUtil」をインストールします。
以下の手順で行なってください。

①CDを挿入すると2つのソフトウェア「Microsoft. Net Framework 2.0」「設定ツール」のインストールが順番に行われます。（Net Framework 2.0がインストール済みの場合、手順①～③までスキップされます）

未インストールの場合は以下の画面が順番に出てきますので「同意する」をクリックして下さい。

②Microsoft.　NET Framework 2.0のインストールが開始されます。（PCの性能によりますが5～30分程度時間がかかります）

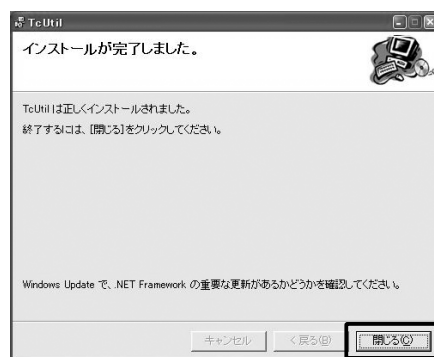
※「インストールに予定より長く時間がかかっています」という画面に切り替わる場合がございますがそのままお待ちください。

③「Microsoft. Net Framework 2.0」のインストールが完了すると「設定ツールTcUtil」のインストールが開始されます。（Net Framework 2.0がインストール済みの場合はここから開始されます）

④「インストールフォルダの選択」画面で変更がなければ、次へ（N）をクリックしてください。

⑤「インストールの確認」画面では、次へ（N）をクリックしてください。

⑥「設定ツールTcUtil」のインストールを開始します

⑦この画面が表示されると「設定ツール」のインストールは完了です。

3-3-2　設定ツールで初期設定を行なう

ご使用PCとタイムレコーダを通信させせるため、設定ツールで初期設定を行います。通信に必要な項目や、打刻するために必要な項目があります。ご使用の条件に合わせて設定を行なってください。設定項目は以下の仕様となっております。

①「TcUtil」アイコンをクリックして設定ツールを起動します。

②画面に初期値が表示されます。必要項目の設定値入力を行なってください。

「設定ツール」について

「設定ツール」のチェックボックスボタンについて

項　目	内　容
①　☐　☑	該当の設定項目をタイムレコーダへ送信、またはメモリカード（CF）に書き出しするかどうかをON/OFFで切り替えます。設定を変更したくない項目はOFFにしてください。
②　初期値に戻す	設定ツールの全設定項目を初期値に戻します。
③　☐全て選択	全ての【設定項目左の ☐ 】について、ON/OFFを切り替えます。
④　ＩＰ 192.168.11.1	LAN経由で設定を行うタイムレコーダのIPアドレスを設定します。
⑤　設定値受信	【IP】でIPアドレスを設定したタイムレコーダの設定値を受信し、設定ツール上に反映します。
⑥　設定値送信	【IP】でIPアドレスを設定したタイムレコーダに設定ツールの内容を送信します(設定項目左の■がONの項目のみ)。
⑦　設定ファイル読込	メモリカード（CF）の設定ファイルを読み込み、設定ツール上に反映します。
⑧　設定ファイル書出	メモリカード（CF）に設定ツールの内容を設定ファイルとして書き出します。
⑨　終了	設定ツールを終了します。

「設定ツール」で設定可能な項目一覧　※次ページに各項目を説明しています。

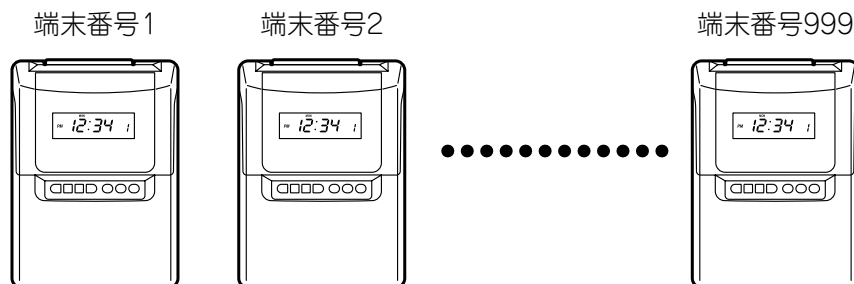
設定項目	初期値（工場出荷時）	入力内容	入力可能値
マシン番号	1	マシン番号を入力します。	1〜999
IPアドレス	192.168.11.1	IPアドレス入力します。	
サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスク入力します。	
ゲートウェイ	192.168.0.1	ゲートウェイアドレスを入力します。	
DNS1	空白	DNSサーバのアドレスを入力します。(優先DNSサーバ)	
DNS2	空白	DNSサーバのアドレスを入力します。(代替DNSサーバ)	
時刻取得先※	192.168.11.100	NTPサーバのIPアドレス/URLアドレスを入力します。	
時刻の取得時刻※	ーー：ーー（設定なし）	時刻取得する時刻を入力します。	00：00〜23：:59
締日	20	締日を入力します。未発行カード挿入時	1〜31（31日は末締めになります）
日付変更時刻	0：00	日付変更（印字段を変更）する時刻を入力します。	00：00〜23：00（時間単位）
直行みなし時刻	ーー：ーー（設定なし）	直行打刻時に記録する時刻を入力します。(変更時より適用)	00：00〜23：59（時間単位）
直帰みなし時刻	ーー：ーー（設定なし）	直帰打刻時に記録する時刻を入力します。(変更時より適用)	00：00〜23：59（時間単位）
置き方	縦	縦/横置きを選択します。	縦／横
12/24表示	12時間制	12時間制/24時間制を選択します。	
打刻方式	マニュアル	マニュアル/セミオートを選択します。	マニュアル/セミオート
出退勤切替時刻	0：00	出退勤切替時刻を入力します。(セミオート選択時のみ有効)	00：00〜23：00（時間単位）
パスワード	ーー：ーー	パスワードを入力します。	0000〜9999

※「時刻取得先」、「時刻の取得時刻」の変更は変更曜日の「時刻の取得時刻」より有効になります。

■項目の説明

マシン番号

タイムレコーダ端末番号のことをいいます。工場出荷時は「001」に設定されております。
複数台のタイムレコーダを使用する場合は、それぞれ異なる端末番号を設定する必要があります。（端末番号は1番～999番まで設定可能）

端末番号1　　端末番号2　　●●●●●●●●●●●●●　　端末番号999

※会社全体で本機1台のみ使用の場合は工場出荷時（初期値）で使用できます。
※ICカードタイプタイムレコーダ（ER-IC1000シリーズ）と併用している場合、ER-IC1000シリーズは台数に含まれません。例）ER-IC1000シリーズ7台、本機1台の時マシン（端末番号）を設定する必要はありません。

IPアドレス

インターネット網の中のPCを機械同士認識できるように1台1台割り当てられている住所のようなもので数値により表現されます。

サブネットマスク

IPアドレス空間を分割して管理するためのデータ。IPアドレスがインターネットの住所ならば、サブネットマスクは住所の都道府県市町村を指し示す目印で数値により表現されます。

ゲートウェイ

所属するLAN等へのネットワークから外部にあるネットワークに通信を行なおうとする場合の出入り口の役割を果たすよう設計された機器のことで、一般的にルータがこれに該当します。

DNS

時刻取得先（NTPサーバ）にホスト名（ntp.nict.jpなど）を使用する場合に設定します。DNSのIPアドレスを入力します。DNSのアドレスについてはシステム管理者にお問合せください。

時刻取得先

タイムレコーダの時計をネットワーク上の時刻取得先と同期を取り、補正を行ないます。時刻取得先（NTPサーバ）はネットワーク内（社内ネットワーク）または､インターネット等で、提供されています。詳しくはシステム管理者にお問合せください。

時刻の取得時刻

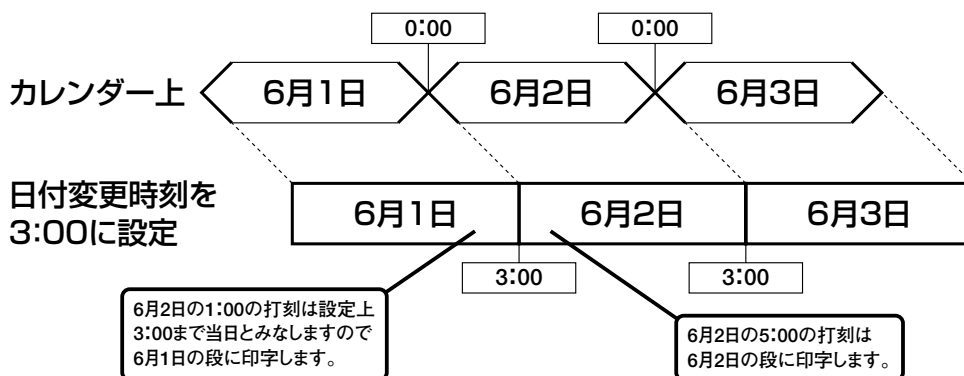
タイムレコーダに設定された取得時刻になると、指定された時刻取得先（NTPサーバ）と時刻の同期を行ないます。
※時刻の取得は取得時刻が設定された翌日から行なわれます。

締日

1ヶ月の勤怠の締日をいいます。工場出荷時は『20日締め』に設定されています。20日締め以外の締日で勤務されている場合に締日の設定が必要となります。タイムカードへの印字は1ヶ月で1枚終わるようになっており、前半面の最上段に締日の翌日が印字されるようになっています。
※タイムレコーダ本体で設定した締日以外で使用するには①カード番号発行で締日変更 ②締日カード発行2つの発行方法があります。

日付変更時刻

実際の日付は午前0時で切り替わりますが、勤務上午前0時をまたいで働かれるところもあります。そのために、タイムレコーダの日付変更する時刻を実際の午前0時から後に移動させることができます。

例）日付変更時刻が3：00の場合
※日付変更時刻を実際の0時よりも後ろへ移動させた例。
　深夜0時以降、働く方がいるところに有効です。

直行／直帰のみなし時刻

会社へ寄らず直接出先へ向かう出勤を直行、また外出先から直接退勤することを直帰といいます。直行／直帰の際にみなし時刻を設定することができます。みなし時刻が設定されているとタイムレコーダの直行、直帰ボタンを押すことで、タイムカードに『ﾁｮｯｺｳ』『ﾁｮｯｷ』打刻を行ない、設定されたみなし時刻による集計を行なうことが可能です。
※直行／直帰みなし時刻が設定されていない場合、タイムレコーダで直行／直帰ボタン押してカード挿入するとエラーとなり『ﾁｮｯｺｳ』『ﾁｮｯｷ』印字を行なうことが出来ません。

置き方

タイムレコーダの置き方をたて置き、よこ置きから選択することができます。たて置き選択時は時計表示はそのままです。よこ置き選択時は時計表示は180°回転します。

12／24表示

時計表示を12時間制、24時間制から選択できます。

打刻方式

マニュアル／セミオート2つの打刻方式があります。

マニュアル：日々の打刻時全てにおいて、出勤、外出、戻り、退勤の操作ボタンを押してタイムカードを挿入する方式です。
セミオート：出退勤日替時刻設定時、その範囲内であれば出勤、退勤の操作ボタンを押さずにタイムカード挿入で打刻できます。退勤欄打刻が再び出勤欄に戻るのは日付変更時刻です。

メモ

☆日付変更時刻をこえて退勤打刻を行なう場合には徹夜ボタンで同一日扱いにすることができます。

参照　P.33　7-1-1　マニュアル（操作ボタンを押して）打刻

3-3-3　設定ファイルをメモリカード（CF）に書き出す

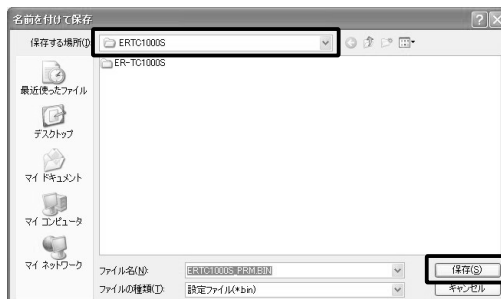
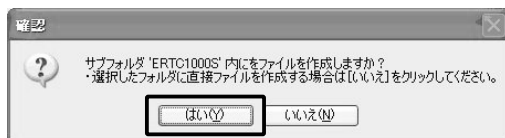
PCで設定したファイルをタイムレコーダへ読み込ませる媒体としてメモリカード（CF）へ書き出します。

①メモリカードリーダにメモリカード（CF）を差込んでください。

ご注意

メモリカード（CF）はカードの向きをご確認のうえ注意して差し込みを行なってください。

②設定ファイル書出ボタンをクリックします。

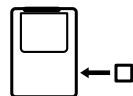
③保存する場所を確認し、保存（S）をクリックします。

④はい（Y）をクリックしてください。

⑤ファイルを作成しましたと表示されたらOKをクリックしてください。以上で設定ファイルはメモリカード（CF）に書き込み完了です。

⑥メモリカード（CF）をメモリカードリーダから取り出してください。

メモ

☆既にメモリカード（CF）内にフォルダがある場合こちらの確認ダイアログは表示されません。
☆ER-TC1000S単体にメモリカードリーダは同梱しておりません。別途、お買い求めください。

お願い

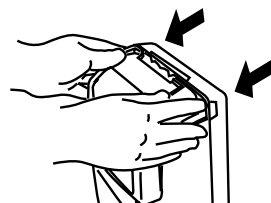
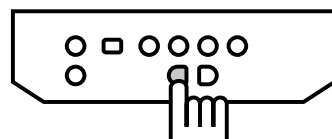
☆ファイル名は変更しないでください。

3-3-4　設定ファイルをタイムレコーダへ読み込ませる

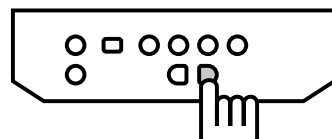
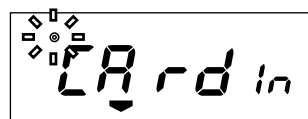
メモリカード（CF）に書き込んだ設定ファイルをタイムレコーダへ読み込ませます。

①同梱のメモリカード（CF）を本体のデータ転送I/ Fに差し込んでください。

ご注意

メモリカード（CF）はカードの表面が手前であることをご確認のうえ注意して差し込みを行なってください。

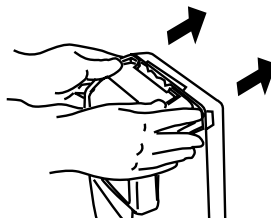
②フロントカバーをはずしてください。

③ 設定開始 ボタンを約3秒間押しつづけてください。ピッと音が鳴り、設定モードに入ります。
設定ロックされている場合は、パスワード入力してください。

参照 **P.49　9-6-7　設定ロック時のパスワード入力方法**

④ 項目送り ボタンを2回押して ▼ マークを設定取込の位置に合せてください。Card Inの表示が点滅します。

⑤ セット ボタンを押してください。Card Inの表示が点灯に変わり、◎マークが点滅し、ピピッとなったらファイル読み込み終了です。

⑥ 時計に戻す ボタンを押してください。時計表示に戻ります。

⑦メモリカード（CF）をタイムレコーダから抜いてください。

⑧リポート印字を行ない設定内容を確認してください。

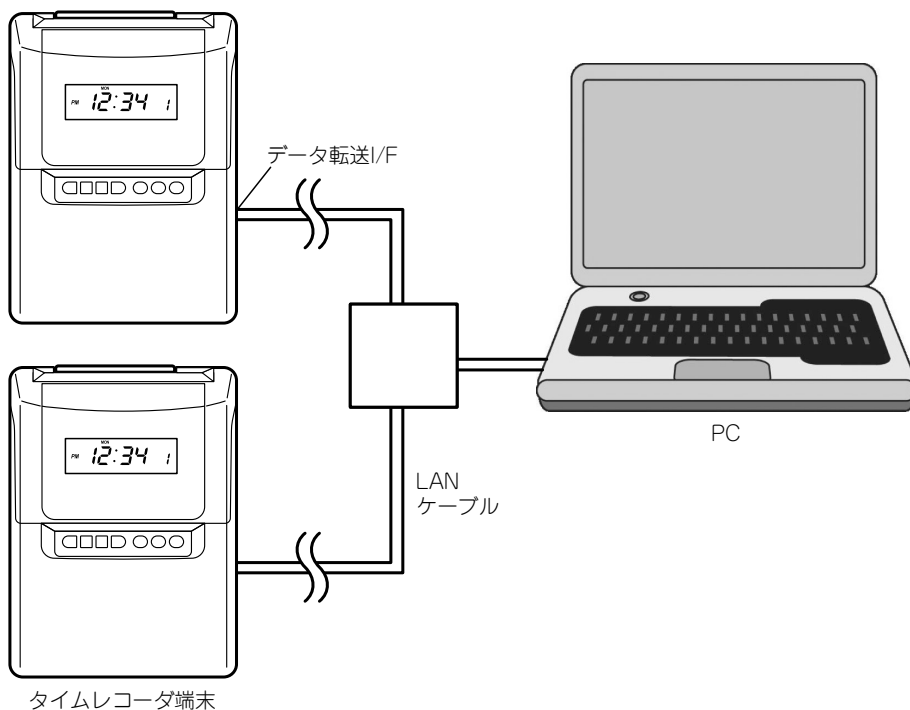
参照 **P.24　4-3　タイムレコーダの設定内容をタイムカードに印字して確認する**

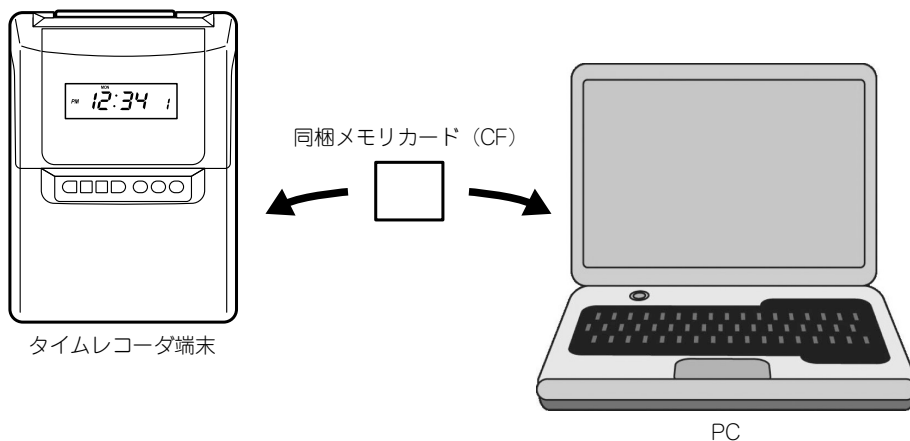
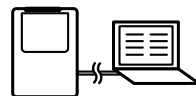
⑨フロントカバーを取り付けてください。

第４章　準備　確認

4-1　タイムレコーダにLANケーブルを接続する

※オフライン、メモリカード（CF）で運用の場合は必要ありません。

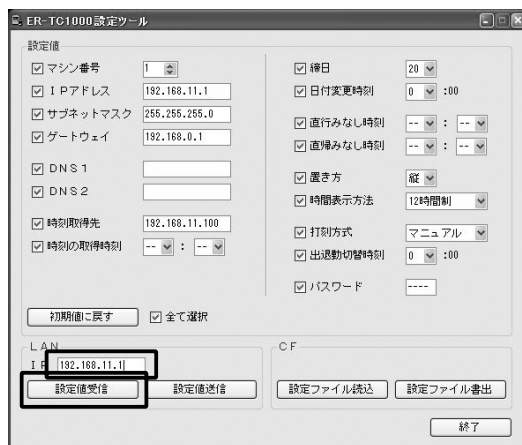
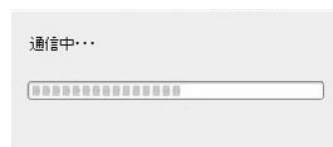
ネットワーク環境で使用

ネットワーク化によるメリット
LAN経由などで打刻データをリアルタイムで収集し、勤怠状況の確認や時間外労働の実態を管理できます。
タイムレコーダのデータ転送I/FにLANケーブルを差し込みます。

オフラインで使用

LANケーブルを接続する必要はありません。

ER-TC1000S単体にメモリカードリーダは同梱しておりません。別途、お買い求めください。

4-2　LAN経由で通信および設定内容を確認する

タイムレコーダが正しく設定されているか、LAN経由で確認できます。
設定ツール起動時に入力されている値は固定のデフォルト値です。未設定時のタイムレコーダにも同じデフォルト値が設定されています。

①タイムレコーダ側面のデータ転送用I/FのLANコネクタにLANケーブルを差し込みます。
②「TcUtil」アイコンをクリックし、設定ツールを起動します。

③設定ツールが起動したら、画面左下のLAN、入力部に受信するタイムレコーダのIPアドレスを入力し、設定値受信をクリックします。

④通信中･･･ダイアログが表示され問題がなければ、タイムレコーダ本体に設定されている値が表示されます。

⑤設定した内容に間違いがないか確認してください。

設定値通信エラーが表示されたら

①入力したIPアドレスに誤りがないか確認してください。
②接続したLANケーブルに断線など不具合、LANコネクタに確実に接続されているか確認してください。
③再度、設定値受信クリックしてください。

参照　P.57　10-5-3　「設定ツール」の通信エラー番号

第4章　LAN経由で通信および設定内容を確認する

4-3　タイムレコーダの設定内容をタイムカードに印字して確認する

タイムレコーダに設定されている内容をタイムカードに印字して確認できます。必ずタイムレコーダ毎にリポート印字を行なって設定内容を残しておいてください。

①フロントカバーをはずしてください。

② （項目送り） ボタンを約3秒間押しつづけてください。ピッと音が鳴り、リポート印字画面になります。

rE Po

③タイムカードを挿入します。設定内容のリポート印字を開始します。

項目	印字	設定値
機種名／バージョン／マシン番号	ER-TC1000S	Ver1.00　M001
締日、日付変更時刻	シメビ/ヒヘン	20日　0:00
打刻方式	ダコクホウシキ	マニュアル
直行みなし時刻	チョッコウ	--:--
直帰みなし時刻	チョッキ	--:--
IPアドレス	IPアドレス	192.168.011.001
サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.000
デフォルトゲートウェイ	DEFゲートウェイ	192.168.000.001
時刻の取得時刻	ジコクシュトク	--:--
時刻取得先	シュトクサキ	----
置き方	オキカタ	タテ
12／24表示	12/24ヒョウジ	12H
パスワード	パスワード	----
今月打刻済カード数	コンゲツカード	0マイ
カード番号発行した数	カードNoカード	2マイ
締日カード発行した数	シメビカード	2マイ

現時点での使用人数とカードの発行状況

※このリポートは設定内容の控えとして必ず保管してください。

項目	説明
コンゲツカード 最大100枚まで	当月打刻されている（使用している）タイムカードの合計枚数（使用人数）を印字します。
カードNo.カード 最大200枚まで	カード番号発行されたタイムカード枚数を印字します。 ※使用開始（打刻）でコンゲツカード扱いとなります。
シメビカード 最大50枚まで	締日カード発行されたタイムカードの枚数を印字します。 ※使用開始（打刻）でコンゲツカード扱いとなります。

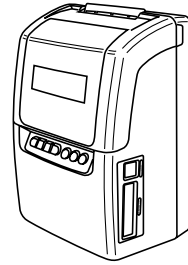
第 5 章　準備　設置

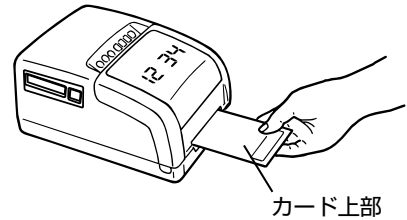
5-1　タイムレコーダを設置する

⚠ 注　意

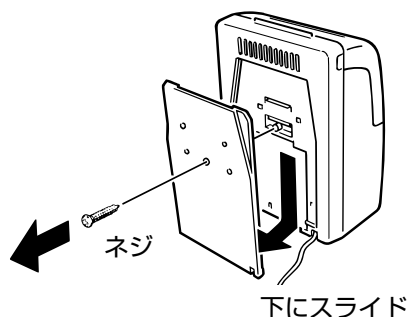
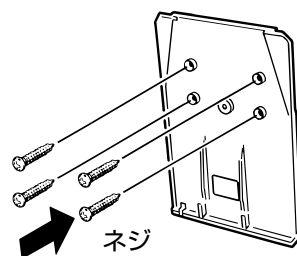
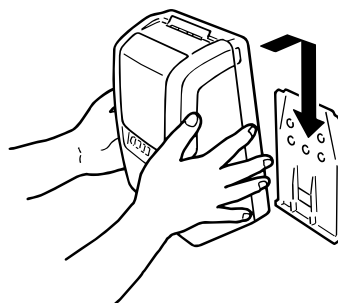
●本体は必ず<u>水平に設置して</u>ください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に<u>設置しない</u>でください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

5-1-1　たて置きで使用する

そのままご使用ください。

5-1-2　よこ置きで使用する

設置場所がせまい場合、本体上部に充分なスペースが無い場合によこ置きが有効です。
※時計の表示もタイムカード挿入方向から見やすくなります。

参照　P.47　9-6-5　置き方（時間表示）の設定

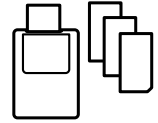
5-1-3　壁にかけて使用する

①タイムレコーダ背面のネジを外して、壁かけ用フックを取りはずしてください。

②付属のネジ4個を使って、壁かけ用フックをご希望の位置に取り付けてください。

③タイムレコーダ本体を壁かけ用フックにスライドさせながら取り付けてください。
フック両側のツバが本体にきっちり納まっているか確認してください。

④電源コードがはさまったり、本体がフックから浮いてしまったりしていないか確認してください。

⚠ 注　意

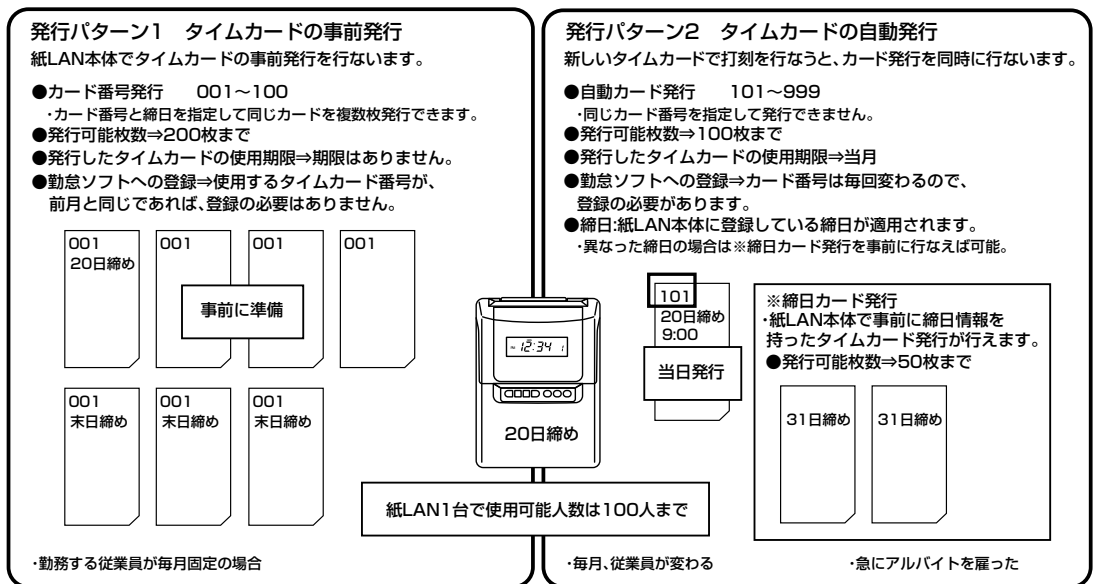
●取り付ける際は、本体の重さを十分支えられる壁を選び、しっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。

●取り付ける際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。タイムレコーダが不意に動作したとき、けがや故障の原因になります。

第 6 章　運用　タイムレコーダを使用する

TIMEDOC紙LANは1ヶ月あたり最大100名までの打刻を保存できます。
カード発行枚数と使用人数（打刻）は異なりますのでご注意ください。

6-1　タイムカードの発行について

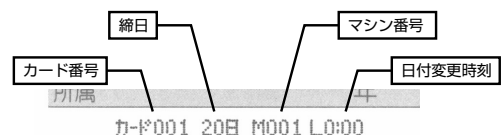
ER-TC1000S TIMEDOC紙LANは
1. タイムカード事前発行、2. タイムカード自動発行の二種類のタイムカード発行方式で毎月の運用が行えます。
お客様の環境に合ったタイムカード発行方法をお選びになれます。

集計ソフト就業DOC-Lightの社員マスタとタイムカードとの関連づけ（紐づけ）はカード番号とマシン番号をたよりに行います。従って従業員様がほとんど固定の場合はタイムカード事前発行運用をされると、後のPCでの作業が楽になります。

1.　タイムカード事前発行は以下の様な場合に便利です

カード番号発行

従業員様がほとんど固定……タイムカードのカード番号を固定できるので事前に同一のカード番号を複数枚発行しておくことができます。タイムカードの最大事前発行枚数は200枚/台です。
※発行したタイムカードに使用期限はありません。最初の打刻時に使用期間が決まります。
※発行したカード番号と使用される従業員様を間違えないでください。
※カード番号の指定と同時に締日を選択することも可能です。
　詳しくは下記ページをご確認ください。

参照　P.29　6-2　カード番号発行

カード番号発行したタイムカードの印字見本
カード番号001、締日20日、マシン（端末番号）001、→
日付変更時刻0：00の場合。

2.　タイムカード自動発行は以下の様な場合に有効です

自動カード発行

従業員様が毎月変わる……未使用のタイムカードを使用します。最初の打刻時、同時にカード発行を行います。
勤怠管理ソフト側ではランダムで発行されたカード番号と従業員様の紐付け作業を行う必要があります。
詳しくは下記ページをご確認ください。

参照　P.30　6-3　自動カード発行

①前ページのタイムカード事前発行しなくても未使用のタイムカードがあれば、最初の打刻時にカード発行も同時に行われます。

②カード番号は101～999までが自動で付与されます。

③タイムレコーダに設定されている締日を適用し、併せて使用期間も最初の打刻時に決定します。

タイムカード自動発行したタイムカードの印字見本
カード番号、自動付与された102と106、
マシン（端末番号）001、日付変更時刻0：00の場合、
使用期間2010年4月21～2010年5月20まで。

締日カード発行

一台のタイムレコーダで異なった締日の従業員様が使用する場合には、「締日カードの発行」を行います。
※締日カードは最大50枚まで作成できます。
※締日カードを発行しないで使用する場合には、タイムレコーダ本体に登録している締日を適用します。
※発行した締め日カードに使用期限はありません。最初の打刻時にカード番号は101～999までが自動で付与しカード発行されます。
詳しくは下記ページをご確認ください。

参照　P.31～32　6-4　締日カード発行

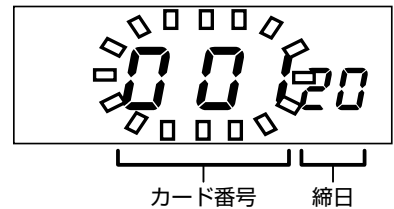
締日カード発行したタイムカードの印字見本
締日20日、マシン（端末番号）001、
日付変更時刻0：00の場合。

6-2　カード番号発行

カード番号、締日、日付変更時刻印字発行します。
カード番号発行されたタイムカードを挿入すると、関連づけられた内容で使用開始できます。

例）6ヶ月～1年分など同じ番号の複数枚発行ができます。最大発行枚数は200枚/台です。発行枚数は使用人数には含まれません。使用人数は打刻した時からカウントを始めます。

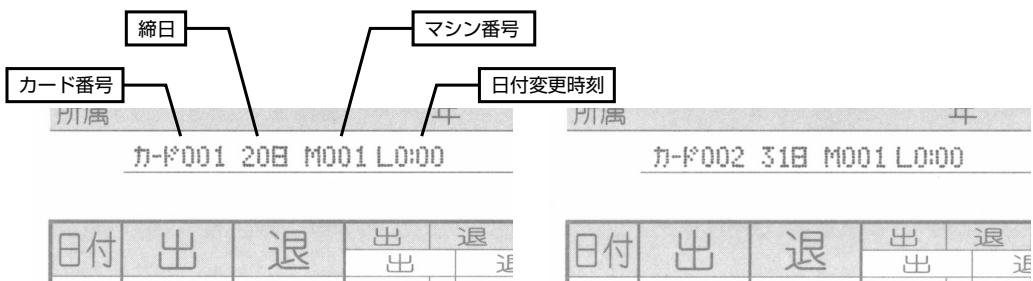
①フロントカバーをはずしてください。

② カード番号発行 ボタンを3秒間押し続けてください。
ピッと音が鳴り、カード番号が点滅表示します。
（選択範囲001～100）

カード番号　締日

③ ▲数字送り ボタン、▼数字戻し ボタンを押して、

カード番号を合わせ ≫セット ボタンを押します。

④締日が点滅表示します。
※締日を変更する場合は ▲数字送り ボタン、
▼数字戻し ボタンを押して締日を選択してください。

⑤新しいタイムカードを挿入してください。
カードの表面にカード番号、締日、端末番号、日付変更時刻を印字します。

つづけて同じ番号を発行する場合はそのまま新しいタイムカードを挿入してください。

⑥ ▲数字送り ボタン、▼数字戻し ボタンを押して、カード番号を合わせ別のカードを発行します。

⑦作業を終了するには 時計に戻す ボタンを押してください。

⑧フロントカバーを取り付けてください。

6-3　自動カード発行

未使用のタイムカード（ER-Sカード）を挿入するだけで自動的にカード番号を印字発行して打刻できます。

出勤

①タイムレコーダの 出勤 ボタンを押してください。
②タイムカードを挿入します。
③時刻打刻と同時にカード発行を行ないます。

外出

① 外出 ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
②タイムカードを挿入します。
③時刻打刻と同時にカード発行を行ないます。

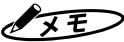
戻り

① 戻り ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
②タイムカードを挿入します。
③時刻打刻と同時にカード発行を行ないます。

退勤

① 退勤 ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
②タイムカードを挿入します。
③時刻打刻と同時にカード発行を行ないます。

未使用タイムカードを 出勤 ボタンを押して打刻させた場合

メモ

☆自動カード発行は101〜999までの番号を月初の打刻と同時に自動で番号が印字されます。
☆すでに使用人数が100人の場合は自動カード発行は行なえません。

お願い

☆管理者の方は勤怠管理ソフトで集計前に自動で番号を割付されたカードとの紐付け作業を行なってください。

6-4　締日カード発行

一台のタイムレコーダで事なった締日の従業員様が使用する場合には、「締日カードの発行」を行います。

※締日カードは最大50枚まで作成できます。

※締日カードを発行後、カード番号発行はできません。カード番号を指定して使用する場合はカード番号発行で行なってください。

※発行した締め日カードに使用期限はありません。

※打刻時にカード番号（101～999番）、使用期間が印字されます。

①フロントカバーをはずしてください。

② (締日カード発行) ボタンを3秒間押しつづけてください。
ピッと音が鳴り、締日が点滅表示されます。

③ (▲数字送り) ボタン、 (▼数字戻し) ボタンを押して締日を選択してください。

④新しいタイムカードを挿入してください。締日カードを発行します。発行時にカードの表面には締日、マシン番号、日付変更時刻を印字します。

【カード印字内容】　【カード番号と締日が紐付いた後の画面表示】

同じ締日で複数枚発行する場合はつづけて新しいタイムカードを挿入してください。

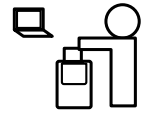
⑤ (時計に戻す) ボタンを押してください。時計表示に戻ります。

⑥フロントカバーを取り付けてください。

タイムカードを印字する基準はタイムレコーダに設定されている締日と日付変更時刻の設定で決まります。
例えば締日20日締、日付変更時刻0：00にしてる場合は、次のようになります。

もし社員は20日締、パートは月末締といったところで使用する場合は、主たる使用者の社員の締日20日をタイムレコーダに設定し、パートの締日月末を締日カードを31日で発行して1台のタイムレコーダで使用することが可能です。

参照　P.31　6-4　締日カード発行

第 7 章　タイムカードへ打刻する

7-1　打刻方式を設定する

TIMEDOC紙LANにはマニュアル／セミオート2つの打刻方式があります。

7-1-1　マニュアル（操作ボタンを押して）打刻

全ての打刻について操作ボタンを押して、タイムカードを挿入します。

出勤

① 出勤 ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
②出勤欄に打刻します。

外出

① 外出 ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
②外出1に打刻します。外出1に打刻されている場合は外出2に打刻します。

戻り

① 戻り ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
②戻り1に打刻します。戻り1に打刻されている場合は戻り2に打刻します。

退勤

① 退勤 ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
②退勤欄に打刻します。
※退勤打刻を行なうと」マークが付き、その日はそれ以降打刻できなくなります。

直行（直行みなし時刻が設定されている必要があります。）

① 直行 ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
②直行みなし時刻設定時、出勤欄に「チョッコウ」と打刻します。

直帰（直帰みなし時刻が設定されている必要があります。）

① 直帰 ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
②直帰みなし時刻設定時、退勤欄に「チョッキ」と打刻します。
※直行、直帰ボタン操作は当日のみ（日付変更時刻まで）有効です。

徹夜（日付変更時刻をまたいで退勤する場合に使用します）

① 徹夜 ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
②出勤日と同じ段の退勤欄に打刻します。打刻の後ろに「テ」が付きます。

タイムカード印字内容

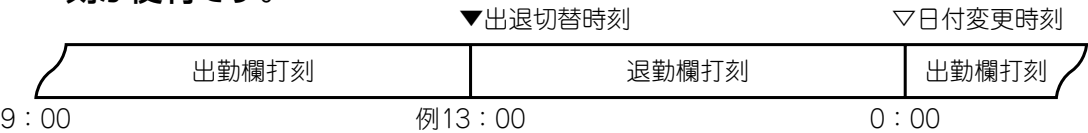
7-1-2　セミオート（出勤／退勤を指定時刻で切替）打刻

出退切替時刻を設定すると操作ボタンを押さなくても▼出退切替時刻を境に出勤欄打刻と退勤欄打刻を行なえます。
※出勤欄打刻時間帯外の出勤や外出戻りの打刻については操作ボタンが必要となります。

1.　1日の打刻回数が2回（出勤退勤のみ）の場合はこちらのセミオート打刻が便利です。

▼出退切替時刻　▽日付変更時刻

出勤欄打刻	退勤欄打刻	出勤欄打刻

9：00　例13：00　0：00

例）　▼　▽

出退切替時刻	日付変更時刻
13：00	0：00

※13：00の打刻は退勤となります。
0：00の打刻は出勤となります。

出勤　0：00〜13：00範囲内で出勤する。
①タイムカードを挿入してください。
②出勤欄に打刻します。

退勤　13：00〜0：00範囲内で退勤する。
①タイムカードを挿入してください。
②退勤欄に打刻します。

2.　上記の範囲外での出勤、退勤、外出、戻りの打刻については操作ボタンを押して打刻します。

13：00〜0：00出勤
①（出勤）ボタンを押してタイムカードを挿入します。
②出勤欄に打刻します。

外出
①［外出］ボタンを押してタイムカードを挿入します。
②外出1欄に打刻します。

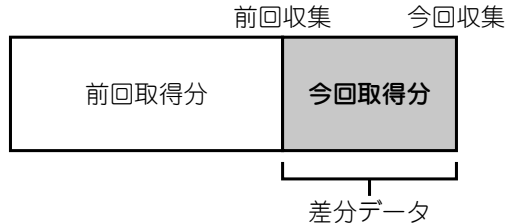
戻り
①［戻り］ボタンを押してタイムカードを挿入します。
②戻り1欄に打刻します。

0：00〜13：00退勤
①（退勤）ボタンを押してタイムカードを挿入します。
②退勤欄に打刻します。

直行、直帰、徹夜の場合はマニュアル操作（操作ボタンを押して）打刻してください。

第 8 章　運用　タイムレコーダの打刻データを収集する

8-1　タイムレコーダの打刻データを収集する

タイムレコーダから差分データ（未送信の打刻データ）をLAN経由またはメモリカード（CF）で出力することができます。

8-1-1　LAN経由でのデータ収集

就業DOC-Light又は就業DOCのデータ収集機能を使用します。

以下の規則で勤怠管理ソフトにカード番号を登録してください。

※詳細は勤怠管理ソフトの取扱説明書をご確認ください。

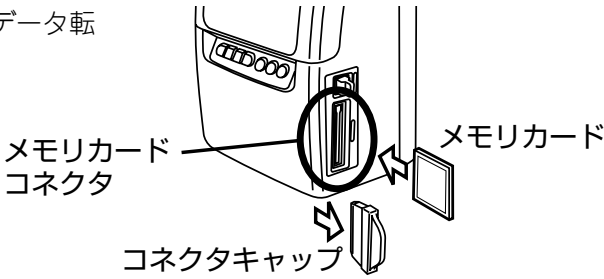
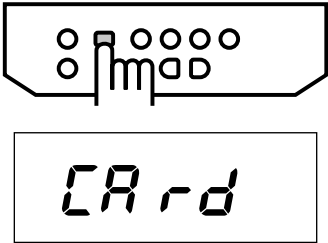
お願い

☆LANまたはメモリカード（CF）で打刻データを取り出すと前回取り出し時以降に打刻されたデータのみを取り出します。よってLANで運用中にメモリカード（CF）で打刻データを取り出した場合は、必ずご使用のソフトにメモリカード（CF）の打刻データを取り込んでください。

8-1-2　メモリカード（CF）でのデータ収集

①フロントカバーをはずしてください。

②同梱のメモリカード（CF）を本体のデータ転送I/ Fに差し込んでください。

ご注意
メモリカード（CF）はカードの表面が手前であることをご確認のうえ注意して差し込みを行なってください。

③（メモリカード出力）ボタンを3秒間押してください。

④ セット ボタンを押してください。

⑤◎マークが点滅し、ピピッとなったら出力終了です。

◎CArd

⑥メモリカード（CF）を抜取ります。

出力内容は下表の通りとなります。

項　目	差分データ出力（書出し）
出力（書出し）位置	フォルダERTC1000S
ファイル名（2010年4月2日）	100402ERTC1000S○○○.bin

設定したマシン番号

8-1-3　打刻データ読み込みがLAN経由で行なえない場合

同梱のメモリカード（CF）でのデータ収集を行なってください。
作業手順は上記8-7-2メモリカード（CF）でのデータ収集を参照してください。

「就業DOC-Light」または「就業DOC」に打刻データを読み込みます。上記以外のソフトに読み込みを行う場合には、データ収集ソフトまたはデータ変換ソフトにてデータ変換を行う必要があります。詳しくは販売店またはマックスにご相談ください。

第 9 章　タイムカードの再発行およびタイムレコーダの設定変更

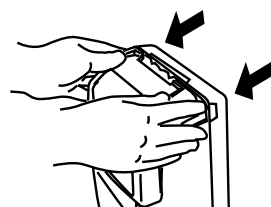
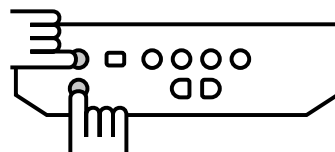
9-1　タイムカードの再発行

ご注意

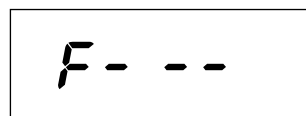
タイムレコーダの紛失、破損等で事前にカード発行を行なった同じ番号のタイムカードを同月内に使用することはできません。

月の途中でタイムカードを紛失、破損してしまった場合には、以下の作業を行なってください。それまでの打刻データはタイムレコーダ内部で引き継がれ、それ以降新しいタイムカードに打刻致します。それ以前のタイムカードへの印字は出来ません。

1. タイムレコーダに登録されている紛失したタイムカード情報の削除を行う（打刻データは削除されません）
2. 新しいタイムカードの登録（発行）を行ないます。（就業DOC-Lightでは紛失カードと新たなカードは同一カードとして通常通りの集計作業が行えます。）

①フロントカバーをはずしてください。

② (カード番号発行) ボタンと (締日カード発行) ボタンを同時に3秒間押してください。
ピッと音が鳴り、設定モードに入ります。入力範囲001～999（今月度打刻済みのカード）

③ (▲数字送り) ボタン、(▼数字戻し) ボタンを押して再発行するカード番号を選択してください。

今月、打刻済みのカード番号がある場合の表示

今月、打刻済みのカード番号がない場合の表示

④カードを挿入してください。

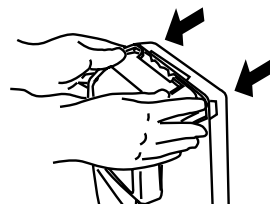
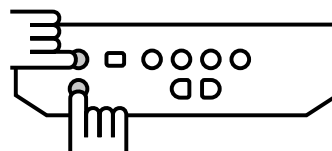
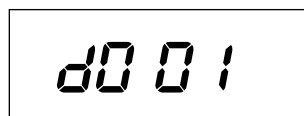
⑤ (時計に戻す) ボタンを押して確定します。

※再発行したタイムカードは、カード番号の前に◆マークが付きます。

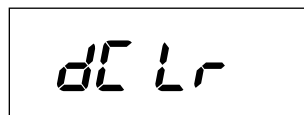
⑥フロントカバーを取り付けてください。

9-2　発行済タイムカードと打刻データの削除

使用していたタイムカードに締日や日付変更時刻の変更修正した時、既に発行しているカード情報を削除できます。

①フロントカバーをはずしてください。

② カード番号発行 ボタンと 締日カード発行 ボタンを3秒間押します。

③ 項目送り ボタンを押すと、削除可能カードの中で一番小さい番号が表示されます。

④ ▲数字送り ボタン、▼数字戻し ボタンで、削除するカード番号を選択してください。

⑤ セット ボタンを押すと削除されます。
※削除可能なカード番号がなくなった場合は、dClrが表示されます。

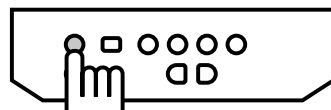
dC Lr

⑥ 時計に戻す ボタンを押してください。時計表示に戻ります。

⑦フロントカバーを取り付けてください。

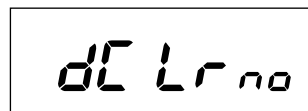
9-3　カード発行情報の削除

以下の手順で発行済みタイムカードの発行情報を削除することができます。

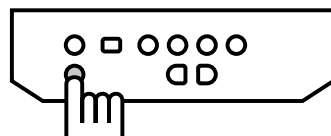
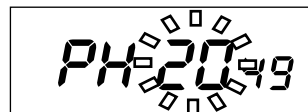
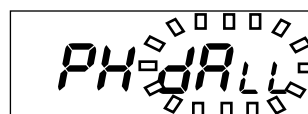
9-3-1　カード番号発行した情報の削除

①フロントカバーをはずして（カード番号発行）ボタンを3秒間押します。

②発行済みカードの中で一番小さい番号が表示されます。

③（項目送り）ボタンを押し、（▲数字送り）ボタンを押して、削除するカード番号まで移動します。

④ セット ボタンを押すとデータが削除されます。

⑤（時計に戻す）ボタンを押すと表示に戻ります。フロントカバーを取り付けてください。

9-3-2　締日カード発行した情報の削除

①フロントカバーをはずして（締日カード発行）ボタンを3秒間押します。

②発行済みカードの中で締日と発行枚数が表示されます。

③（項目送り）ボタンを押します。

④ セット セットボタンを押すとデータが削除され、発行可能枚数表示が変わります。
例）締日カードが1枚発行済みの場合、発行可能枚数は49⇒50に戻ります。

⑤（時計に戻す）ボタンを押すと表示に戻ります。フロントカバーを取り付けてください。

9-4　LAN経由での設定変更

下記項目の設定を行なうことができます。

No	項　　目	設定可否		初期値（工場出荷時）
		本体	LAN/CF	
1	現在時刻設定	○	×	組付時に現在時刻を設定
2	年月日設定	○	×	組付時に現在年月日を設定
3	締日設定	○	○	20
4	日付変更時刻設定	○	○	0：00
5	直行みなし時刻設定	×	○	ーー：ーー（設定なし）
6	直帰みなし時刻設定	×	○	ーー：ーー（設定なし）
7	パスワード設定	○	○	ーーーー（設定なし）
8	マシン番号設定	×	○	001
9	IPアドレス設定	×	○	192.168.11.1
10	サブネットマスク設定	×	○	255.255.255.0
11	デフォルトゲートウェイ設定	×	○	192.168.0.1
12	時刻取得先アドレス設定	×	○	IP：192.168.11.100 URL：空白（NULL）
13	時刻取得時刻設定	×	○	ーー：ーー（取得しない）
14	置き方設定	○	○	縦置き
15	時間表示設定	○	○	12時間表示
16	打刻方式設定	×	○	マニュアル
17	出退切替時刻設定	×	○	ーー：ーー（設定なし）

お願い

☆タイムレコーダ本体運用中に締日、日付変更時刻を変更しないでください。

以下の手順により、PCからタイムレコーダの設定変更が、LAN経由で行えます。

①タイムレコーダ側面のデータ転送I/FにLANケーブルを差し込みます。
参照 P.9　2-1　各部の名称とはたらき

②「TcUtil.exe」アイコンをクリックして設定ツールを起動します。

③運用中のタイムレコーダの設定変更の場合は現在の設定を読み込みます。設定を行なうタイムレコーダのIPアドレスを設定ツール左下の「IP」欄に入力し、「設定値受信」ボタンをクリックします。設定ツールに現在の設定が読み込まれます。

④設定ツール画面の必要項目の設定値変更を行なってから、LAN「設定値送信」をクリックします。

⑤確認画面が表示されます。「はい（Y）」をクリックします。
※送信前に設定値を再確認してください。

⑥通信中･･･ダイアログが表示され、正しく設定が完了すれば、設定値画面が表示されます。

設定値通信エラーが表示されたら

①入力したIPアドレスに誤りがないか確認してください。

②接続したLANケーブルに断線など不具合、データ転送I/Fへ確実に接続されているか確認してください。

③再度、設定値受信を行ってください。
参照 P.56　10-5-2　「設定ツール」のエラーメッセージ
参照 P.57　10-5-3　「設定ツール」の通信エラー番号

9-5　メモリカード（CF）での設定変更

メモリカード（CF）はタイムレコーダ毎に用意してください。

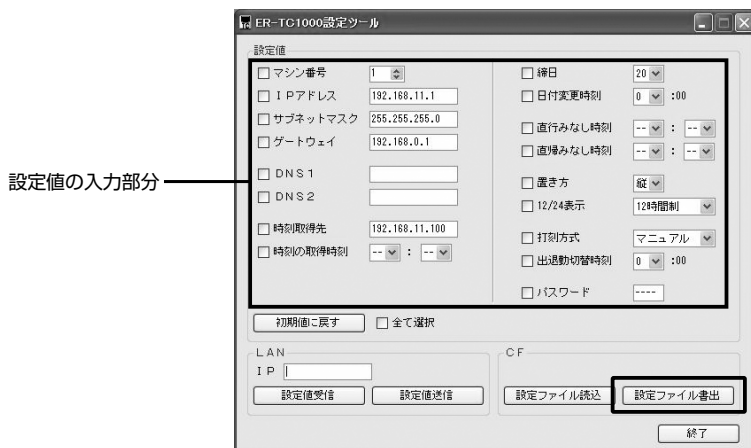
①メモリカードリーダにメモリカード（CF）を差込んでください。

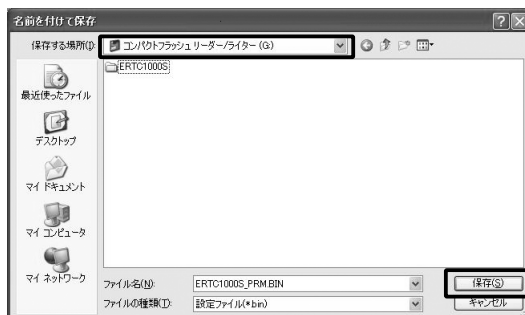
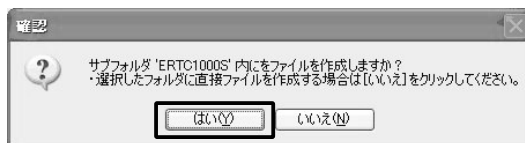
ご注意

メモリカード（CF）はカードの向きをご確認のうえ注意して差し込みを行なってください。

②設定ツールを起動します。

③変更したい項目の設定を行ない設定ファイル書出ボタンをクリックします。

※設定変更したくない項目のチェックボックスがOFFになっていることを確認してください。

④メモリカード（CF）を選択したうえで、
　保存（S）をクリックします。

※ファイル名は変更しないでください。

⑤はい（Y）をクリックしてください。

⑥以下のダイアログが表示されたら完了です。

⑦メモリカード（CF）をメモリカードリーダから取
　り出してください。

※下記ページを参照のうえ、メモリカード（CF）へ書き出した設定ファイルをタイムレコー
　ダへ読み込ませてください。

参照　P21　3-3-4　設定ファイルをタイムレコーダへ読み込ませる

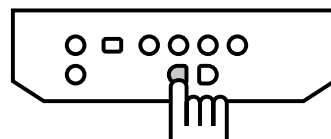
9-6　タイムレコーダ本体での設定方法

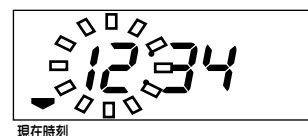
ER-TC1000S本体から下記項目の設定を行なうことができます。

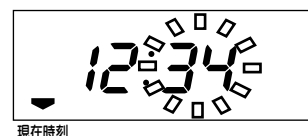
項　目	設定可否		初期値（工場出荷時）
	本体	LAN/CF	
現在時刻設定	○	×	現在時刻を設定
年月日設定	○	×	現在年月日を設定
締日設定	○	○	20
日付変更時刻設定	○	○	0：00
パスワード設定	○	○	ーーーー（設定なし）
置き方設定	○	○	縦置き
時間表示設定	○	○	12時間表示

9-6-1　現在時刻の設定

①フロントカバーをはずしてください。

② 設定開始 ボタンを約3秒間押しつづけてください。ピッと音が鳴り、設定モードに入ります。
設定ロックされている場合は、パスワード入力してください。

参照 P.49　9-6-7　設定ロック時のパスワード入力方法

③時表示が点滅します。 ▲数字送り ボタン、▼数字戻し ボタンを押して時刻設定してください。

④ セット ボタンを押してください。

⑤分表示が点滅します。 ▲数字送り ボタン、▼数字戻し ボタンを押して時刻設定してください。

⑥ セット ボタンを押してください。

⑦秒表示が点滅します。

⑧ セット ボタンを押すと0秒表示となり、秒のカウントを開始します。

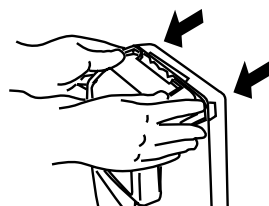
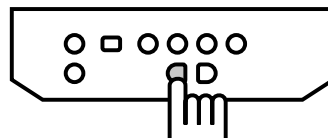
⑨ 時計に戻す ボタンを押してください。時計表示に戻ります。

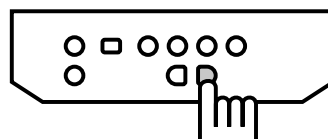
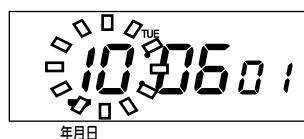
⑩フロントカバーを取り付けてください。

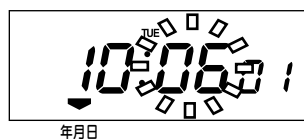
お願い

☆運用中に年月日を変えて打刻を行わないでください。
　時刻をさかのぼって打刻はできません。

9-6-2　年月日の設定

①フロントカバーをはずしてください。

② (設定開始) ボタンを約3秒間押しつづけてください。ピッと音が鳴り、設定モードに入ります。
設定ロックされている場合は、パスワード入力してください。

参照 **P.49　9-6-7　設定ロック時のパスワード入力方法**

③ (項目送り) ボタンを1回押して ▼ マークを年月日の位置に合せてください。

④「西暦年」表示が点滅します。(下2桁)
(▲数字送り) ボタン、(▼数字戻し) ボタンを押して「西暦年」を合わせてください。

⑤ (セット) ボタンを押して確定します。

⑥「月」表示が点滅します。
(▲数字送り) ボタン、(▼数字戻し) ボタンを押して「月」を合わせてください。

⑦ (セット) ボタンを押して確定します。

⑧「日」表示が点滅します。
(▲数字送り) ボタン、(▼数字戻し) ボタンを押して「日」表示を合わせてください。

⑨ (セット) ボタンを押して確定します。

⑩ (時計に戻す) ボタンを押してください。時計表示に戻ります。

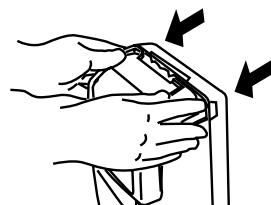
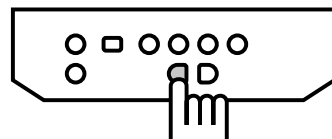
⑪フロントカバーを取り付けてください。

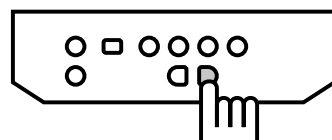
お願い

☆運用中に年月日を変えて打刻を行わないでください。
　時刻をさかのぼって打刻はできません。

9-6-3　締日と日付変更時刻の設定

工場出荷時はタイムレコーダ本体の締日と日付変更時刻設定されております。
締日 20締め、日付変更時刻 0：00

①フロントカバーをはずしてください。

② **設定開始** ボタンを約3秒間押しつづけてください。ピッと音が鳴り、設定モードに入ります。
設定ロックされている場合は、パスワード入力してください。

参照 P.49　9-6-7　設定ロック時のパスワード入力方法

③ **項目送り** ボタンを3回押して ▼ マークを締日/日付変更時刻の位置に合わせてください。

④日付変更時刻表示が点滅します。
▲数字送り ボタン、 **▼数字戻し** ボタンを押して日付変更時刻を変更してください。

⑤ **セット** ボタンを押して確定します。

⑥締日表示が点滅します。
▲数字送り ボタン、 **▼数字戻し** ボタンを押して締日を変更してください。

⑦ **セット** ボタンを押してください。
締日と日付変更時刻を確定します。

⑧ **時計に戻す** ボタンを押してください。時計表示に戻ります。

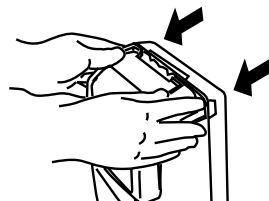
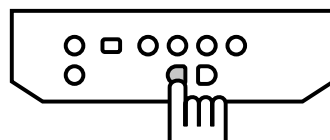
⑨フロントカバーを取り付けてください。

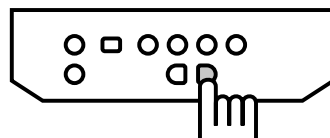
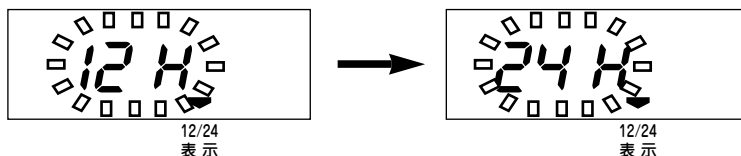
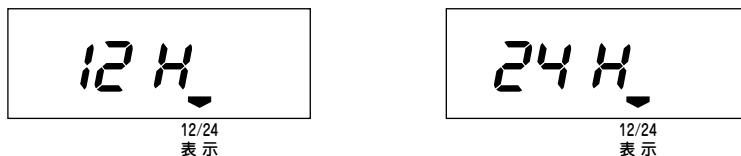
お願い

☆運用中に締日および日付変更時刻を変更しないでください。

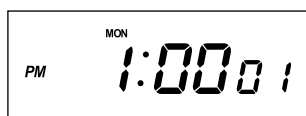
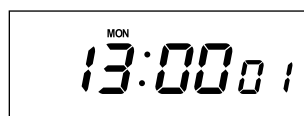
9-6-4　12/24時間表示の選択方法

時計表示形式を選択する画面です。
PM：1：00を24時間表示にすると表示は13：00となります。
※ディスプレイ表示にかかわらずタイムカードへの打刻は全て24時間表示となります。

①フロントカバーをはずしてください。

② 設定開始 ボタンを約3秒間押しつづけてください。ピッと音が鳴り、設定モードに入ります。
設定ロックされている場合は、パスワード入力してください。

参照 P.49　9-6-7　設定ロック時のパスワード入力方法

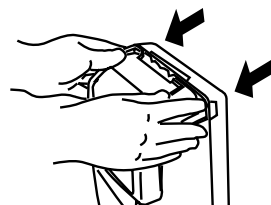
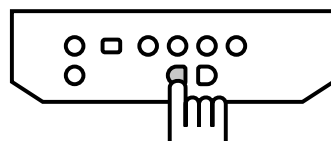
③ 項目送り ボタンを4回押して ▼ マークを12/24時間表示の位置に合わせてください。

④ ▲数字送り ボタン、 ▼数字戻し ボタンを押して12H/24Hを選択してください。

⑤ セット ボタンを押してください。点滅が点灯に変わり確定します。

⑥ 時計に戻す ボタンを押してください。時計表示に戻ります。

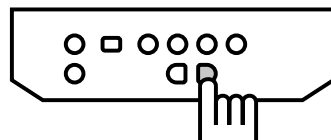
⑦フロントカバーを取り付けてください。

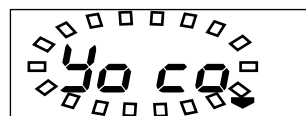
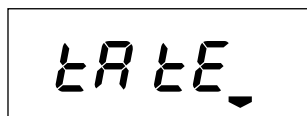
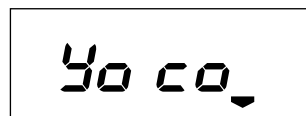
12時間制を選択、午後1時の時計表示

24時間制を選択、午後1時の時計表示

※よこ置き設定時は24時間制表示となります。

9-6-5　置き方（時間表示）の設定

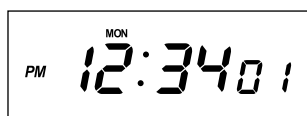
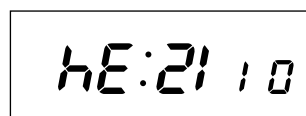
タイムレコーダの置き方をたて置き、よこ置きから選択することができ、置き方に合せた時間表示となります。よこ置きで手前側からカードを挿入する使い方をしても時計が正しく読めます。
工場出荷時はたて置きに設定されています。

①フロントカバーをはずしてください。

② 設定開始 ボタンを約3秒間押しつづけてください。ピッと音が鳴り、設定モードに入ります。
設定ロックされている場合は、パスワードを入力してください。

参照 P.49　9-6-7　設定ロック時のパスワード入力方法

③ 項目送り ボタンを5回押して ▼ マークを置き方の位置に合わせてください。

④ ▲数字送り ボタン、 ▼数字戻し ボタンを押して置き方（時間表示方法）を設定します。

たて置きで使用する場合　　よこ置きで使用する場合

⑤ セット ボタンを押してください。点滅が点灯に変わり確定します。

⑥ 時計に戻す ボタンを押してください。時計表示に戻ります。

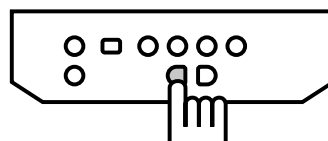
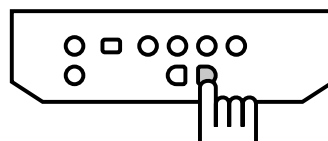
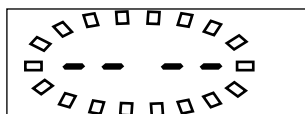
⑦フロントカバーを取り付けてください。

たて置き選択、1日、月曜日、午後12時34分

よこ置き選択、1日、月曜日、午後12時34分

※よこ置き設定時は24時間制表示となります。

9-6-6　パスワードによる設定ロックの方法

タイムレコーダでの設定を4桁のパスワードで設定ロックできます。
設定ロック時に設定開始するにはパスワード入力を要求されます。

①フロントカバーをはずしてください。

② (設定開始) ボタンを約3秒間押しつづけてください。ピッと音が鳴り、設定モードに入ります。

③ (項目送り) ボタンを6回押して ▼ マークをパスワードの位置に合せてください。

④ (▲数字送り) ボタン、(▼数字戻し) ボタンを押して数字を選択します。(入力範囲各桁0～9)

⑤ (▲数字送り) ボタン、(▼数字戻し) ボタンを押して数字を選択します。
≫セット ボタンを押して確定します。次の桁が点滅表示に移り変わり設定可能となります。

⑥ (▲数字送り) ボタン、(▼数字戻し) ボタンを押して数字を選択します。
≫セット ボタンを押して確定します。次の桁が点滅表示に移り変わり設定可能となります。

⑦ (▲数字送り) ボタン、(▼数字戻し) ボタンを押して数字を選択します。
≫セット ボタンを押して確定します。次の桁が点滅表示に移り変わり設定可能となります。

⑧ (▲数字送り) ボタン、(▼数字戻し) ボタンを押して数字を選択します。
≫セット ボタンを押して確定します。次の桁が点滅表示に移り変わり設定可能となります。

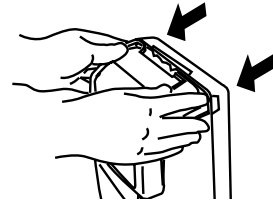
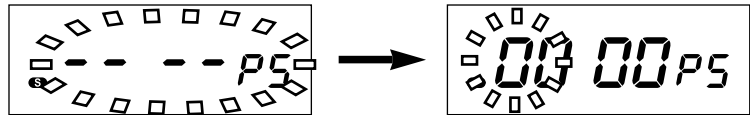
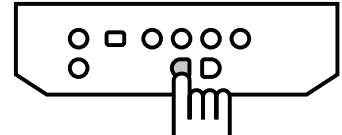
⑨ ≫セット ボタンを押して確定します。

⑩ (時計に戻す) ボタンを押して終了します。時計表示に戻ります。

⑪フロントカバーを取り付けてください。

9-6-7　設定ロック時のパスワード入力方法

パスワードによる設定ロック時に設定開始を行うにはパスワード入力を要求されます。
以下の手順で行なってください。

①フロントカバーをはずしてください。

②（設定開始）ボタンを約3秒間押しつづけてください。ピッと音が鳴り、設定モードに入ります。

③パスワード入力します。
各桁を（▲数字送り）ボタン、（▼数字戻し）ボタンを押して数字を選択します。（入力範囲各桁0〜9）
》セット ボタンを押して確定します。次の桁が点滅表示に移り変わり設定可能となります。
例：パスワードが“1234”と設定されている場合

④4桁の入力が終わったら再度 》セット ボタンを押して確定します。

⑤パスワードが一致すれば設定画面に切り替わり設定可能となります。

第 10 章　付録

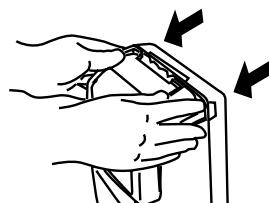
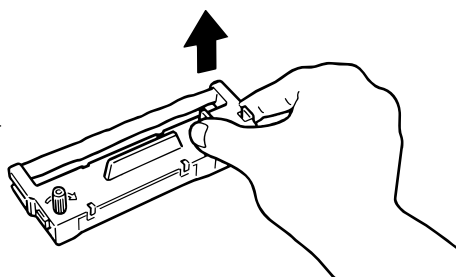
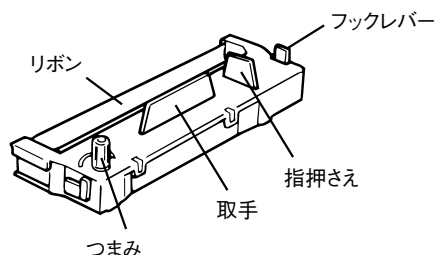
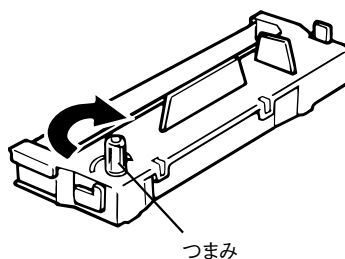
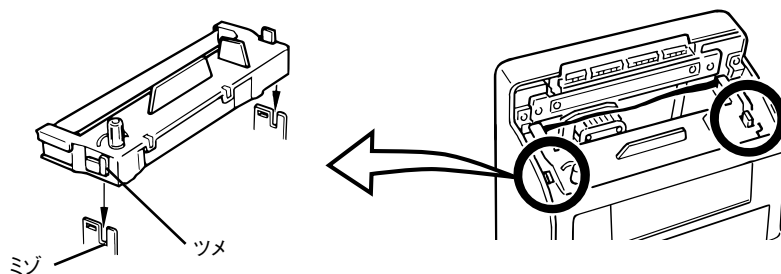
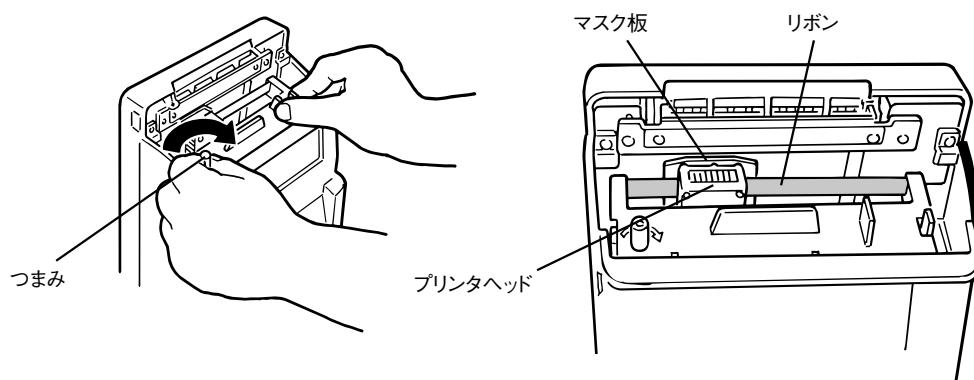
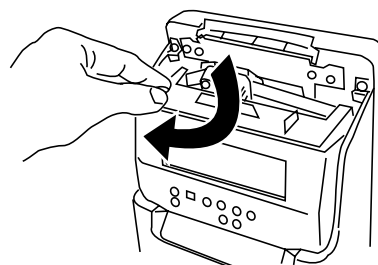
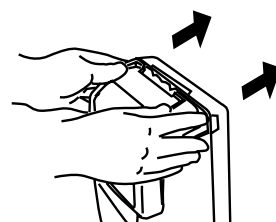
10-1　インクリボンの交換

印字がうすくなったら早めに専用インクリボン・ER-IR101（別売）と交換してください。

＊インクの補充はできません。お求めは、タイムレコーダをお買い上げになったお店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

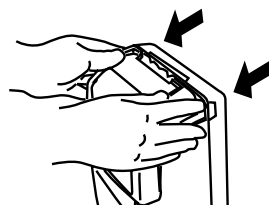
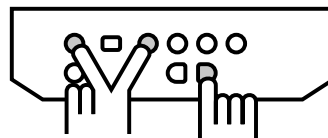
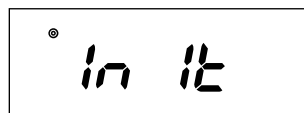
⚠ 注　意

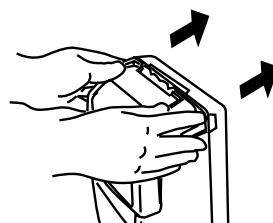
	●**プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。**
	●**インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。**
	●**インクリボンの交換の際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。**

①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

②リボンカセットの「指押さえ」と「フックレバー」を右手の親指と人差し指ではさみ、そのまま持ち上げます。次に「取手」を左手でつまんで持ち上げ、インクリボンを取り外します。

③新しいリボンカセットを取りだし、「つまみ」を矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。（エンドレスリボンです。たるみを取るために巻き取った部分も使えます。ピンと張るまで充分に巻いてください。）

④リボンカセットの左右両側面の「ツメ」を本体のカセット台の「ミゾ」に合わせます。

⑤リボンカセットの「つまみ」を回しながら、「リボン」が「プリンターヘッド」と「マスク板」の間になるよう、カチッと音がするまで押しつけます。（きちんとセットされていないとリボンが送られない場合があります。）

⑥リボンカセットのつまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。この時、リボンが正しくセットされているか、リボンのねじれがないか確認してください。

⑦フロントカバーを取り付けてください。

10-2　タイムレコーダの初期化

タイムレコーダを他の場所で新たに使用するときに初期化を行います。
・発行済のタイムカードは使用できなくなります。
・LANで通信ができなくなります。
・打刻データがすべて無くなります。
　十分に注意して行ってください。

ご注意
初期化を行なうとタイムレコーダすべての設定が初期設定（工場出荷時）にもどります。

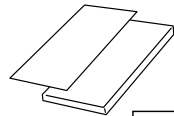
①フロントカバーをはずしてください。

②カード発行ボタン数字送りボタン項目送りボタン
　を同時に3秒間押します。

③ピッピッピと音が鳴り、初期化を行ないます。

④時計表示に戻れば初期化は完了です。

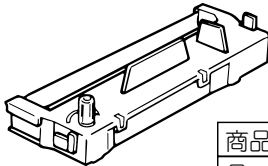
⑤フロントカバーを取り付けてください。

10-3　商品仕様

商品名	ER-TC1000S
電源	AC　100V　50／60Hz
外形寸法	240（H）×175（W）×120（D）mm
質量	2.4kg
消費電力	待機時 10W以下、定格 40W
時計機構	水晶発振式
表示管	蛍光表示管
表示内容	日付、曜日、時分、AM／PM
印字内容	日付、曜日、時分、締日、マシン番号、カード使用期間、日付変更時刻
メモリー保持	工場出荷時より停電累計3年
使用人数	100人
タイムカード	専用カード「ER-Sカード」
インクリボン	専用インクリボン「ER-IR101」
メモリカード（CF）	メモリカード（コンパクトフラッシュ）
使用温度	0℃～40℃（湿度10～90%RH　結露なきこと）
保存温度	－20℃～60℃

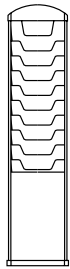
10-4　消耗品・オプション一覧

消耗品

タイムカード

商品名：ER-Sカード
品　番：ER90060
価　格：￥1,800
入　数：100枚入

インクリボン

商品名：ER-IR101
品　番：ER90202
価　格：￥2,500

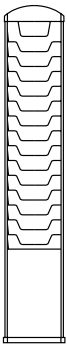
オプション

タイムカードラック

10人用

ホワイト

商品名：ER-RW10
品　番：ER90229
価　格：￥3,000

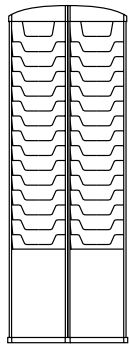
ブラック

商品名：ER-RB10
品　番：ER90700
価　格：￥3,000

15人用

ホワイト

商品名：ER-RW15
品　番：ER90230
価　格：￥4,000

ブラック

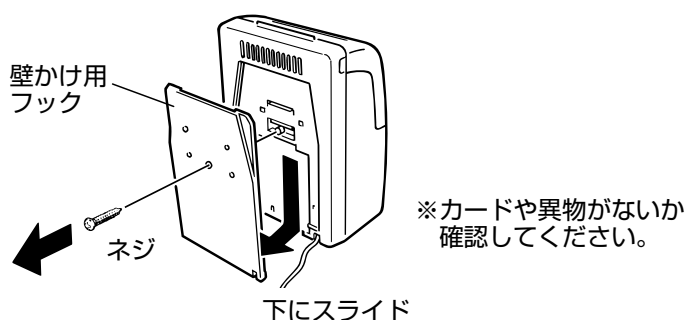
商品名：ER-RB15
品　番：ER90701
価　格：￥4,000

30人用

ホワイト

商品名：ER-RW30
品　番：ER90231
価　格：￥7,000

10-5　トラブルシューティング

10-5-1　こんなときは ～故障と思われる前にご確認ください～

現　象	チェック方法	処　置	参照頁
カードに印字しない	インクリボンは正しくセットされていますか？	インクリボンを正しくセットしてください。	P50
印字が薄い	インクリボンが消耗していませんか？	本体購入店かお近くの文具事務用品店でインクリボン（商品名：ER-IR101）をご購入頂き、取扱説明書に沿って交換してください。	P50
タイムカードが入らない	カードに曲がりや破損はありませんか。お使いの機械で発行されたカードですか？	新しいカードを再発行してご使用ください。	P37
カードが入ったまま出てこない	印字途中で電源コードを抜いていませんか。カードに付箋紙等を貼ったまま入れていませんか？	電源コードを抜き差ししてください。直らない場合は本体背面のネジを取り、壁かけ用フックを下にスライドして外します。詰まったカードや異物を取り除いて壁かけ用フックを元に戻してください。	下図参照
印字する段がずれる	印字中のカードを押し込んだり、引き抜いたりしていませんか。締日や日変時刻の設定は合っていますか？	カードは自動で引き込まれる位置まで軽く差し込んでください。カード発行時と締日や日変時刻の設定が合っているか確認し、必要なら修正してください。	P40 P45

●以上の処置を行っても、正常に復帰できない場合は、お買い上げ店またはお近くの文具事務用品店・マックスエンジニアリング＆サービスファクトリー㈱窓口まで、ご相談ください。

10-5-2　「設定ツール」のエラーメッセージ

操　作	メッセージ	備　考
設定ファイル書出/設定値送信	“IPアドレスが正しくありません。”	
	“サブネットアドレスが正しくありません。”	
	“デフォルトゲートウェイアドレスが正しくありません。”	
	“DNS1アドレスが正しくありません。”	
	“DNS2アドレスが正しくありません。”	
設定値送信	“通信先IPアドレスが正しくありません。”	
	“設定値受信エラー（xxx）”	xxxはエラー番号（P57参照）
設定値受信	“通信先IPアドレスが正しくありません。”	
	“設定値受信エラー（xxx）”	xxxはエラー番号（P57参照）
設定ファイル読込	“ファイルが開けません。”	
	“ファイルが正しくありません。”	
設定ファイル書出	“フォルダ‘ERTC1000S’を作成し、ファイルを作成しますか？” ・選択したフォルダにファイルを作成する場合は［いいえ］をクリックしてください。”	
	“サブフォルダ‘ERTC1000S’内にファイルを作成しますか？” ・選択したフォルダに直接ファイルを作成する場合は［いいえ］をクリックしてください。”	
	“ファイル‘xxxxxx’は既に存在します。置き換えますか？”	ファイルの上書き確認

10-5-3　「設定ツール」の通信エラー番号

共　　通	
-112	端末状態通信終了レスポンス内容異常
-111	端末状態通信終了レスポンス受信失敗
-110	“待機中”以外
-109	端末状態データ受信完了コマンド送信失敗
-108	端末状態データ受信失敗
-107	端末状態要求コマンド送信失敗
-106	端末状態要求受付レスポンス受信失敗
-105	端末状態要求受付レスポンス内容異常
-103	機種がER-TC1000Sでない
-102	その他エラー
-101	接続失敗
設定変更ファイル送信	
-207	設定変更要求コマンド送信失敗
-206	設定変更要求受付レスポンス受信失敗
-205	設定変更要求受付レスポンス内容異常
-208	設定データ送信失敗
-204	設定データ受信完了レスポンス受信失敗
-203	設定データ受信完了レスポンス内容異常
-202	その他エラー
-201	接続失敗
設定ファイル受信	
-307	設定送信要求コマンド送信失敗
-306	設定送信要求受付レスポンス受信失敗
-305	設定送信要求受付レスポンス内容異常
-308	設定データ受信失敗
-309	設定データ受信完了コマンド送信失敗
-302	その他エラー
-301	接続失敗
-310	受信データ内容異常
-311	設定送信終了レスポンス受信失敗
-312	設定送信終了内容レスポンス内容異常

10-5-4　「タイムレコーダ」のエラーコード

エラー	内　　容	処　　置
E-00	自動送りされる位置まで、タイムカードが入っていない。	タイムカードが自動送りされるまで、軽く押し込んでください。
E-01	タイムカードの上下または表裏が間違っている。	タイムカードを正しい向きで入れてください。
E-02	パンチ穴が正常に読取れない。	締日、日付変更時刻の設定をご確認ください。タイムカードが挿入されたら、手を離してください。タイムカードの曲がりなどがないか確認してください。背面の壁掛け用フックを取り外し、異物がないか、壁センサーに汚れがついてないか確認してください。
E-04 00	・当日、退勤・直帰打刻した後に打刻しようとした。 ・徹夜打刻時、前日打刻欄との関係による印字位置指定エラー。	打刻の位置を確認してください。 最終打刻されている場合は、打刻できません。
E-04 01	・打刻済みの日付よりも前の日付で印字しようとした	
E-04 02	・直行見なし時刻が未設定なのに直行打刻しようとした。 ・直帰見なし時刻が未設定なのに直帰打刻しようとした。	設定ツール（同梱CD）による初期設定で直行／直帰みなし時刻の設定を行なってください。
E-05	・1ヶ月の使用人数を越えて打刻しようとした。 ・締日カード発行時に、51枚目を発行しようとした。 ・カード番号発行時に、201枚目を発行しようとした。	以下の範囲内運用してください。 1ヶ月の使用人数　100人 締日カード　50枚 カード番号発行　200枚
E-08	打刻時以外で、先月タイムカードを挿入した。	今月使用タイムカードを挿入してください。
E-09	打刻時以外で、今月カードを挿入した。	
E-11	打刻時、締日の翌日に「徹夜」キーを押し、今月カードが挿入された。	
E-12	打刻時、使用期間を過ぎた先月のタイムカードを挿入した。	使用期間内のタイムカードを挿入してください。
E-13	打刻時、操作ボタンを押さずにタイムカードを挿入した。	操作ボタンを押してタイムカードを挿入してください。
E-14	打刻時、カード番号発行したカードを挿入したが、カード番号が当日使用されていた。	

エラー	内　容	処　置
E-17	打刻時以外で、締日カード発行しタイムカードを挿入した。	
E-18	打刻時以外で、カード番号発行したカードを挿入した。	
E-20	メモリカード（CF）にデータ出力できない。	メモリカード（CF）が正しく差し込まれているか確認してください。
E-25	設定ファイルが正常に読み込めない。	
E-6900	タイムカードがスムーズに入っていかない。（基準穴が見つからない）	E-02と同様の処置を行なってください。
E-6901	タイムカードがスムーズに入っていかない。（穴位置が正しくない）	
E-6902	タイムカードがスムーズに出てこない。	
E-EE	電源ON時にヘッドをホームポジションに移動できなかった。	パスワードが正しいか確認してください。
	印刷時にヘッドをホームポジションに移動できなかった。	
E-PS	設定されているパスワードと入力されたパスワードが一致しない。	パスワードが正しいか確認してください。
E-CC	締日カード発行、カード番号発行、カード再発行時に、コピーカードが挿入された。	マックス純正タイムカードSカードをご使用ください。

10-6　保証書とアフターサービス

保証書について

●保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、当社営業所、またはマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱窓口にご相談ください。修理によって機能が維持出来る場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
●お客様登録カード：お買い上げ後、必ずお客様登録カードをお送りください。
●メモリカード（CF）、メモリカードリーダーの保証期間は、お買い上げ後1年間です。

アフターサービスについて

●お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱にお持ち込みください。
※別途有料保守契約をされているお客様につきましては保守契約内容をご確認ください。

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8108(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121(代)
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2140(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8141(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL(019)621-3541(代)
静岡営業所	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1－3－26	TEL(054)237-6116(代)

販売関係会社

埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町3－421	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661(代)
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL(076)240-1871(代)
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL(087)866-5599(代)

マックスサービスファクトリー（株）

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778(代)
東京サービスステーション	〒190-0022	立川市錦町5－17－19	TEL(042)548-5332(代)
名古屋サービスステーション	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8210(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

使い方のお問い合わせ

ホームページアドレス：http://www.max-ltd.co.jp/op/
お客様相談ダイヤル：0120 - 510 - 200
携帯電話からは：03 - 3669 - 6786
[月～金曜日（祝祭日、当社休業日除く）午前9時～午後6時]
【ナンバーディスプレイ】を利用しています。

お客様相談ダイヤルではネットワーク環境下での設定運用のトラブル解決や勤務体系の設定方法などのご相談にはお答えできません。納入設置（別途有料）をご用命ください。

CO1006G　Vol.2